

ムービーファイル
MF-90V
MOVIE FILE

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 電源プラグ、コードは

- ・ 定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・ 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・ 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・ 電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・ 電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・ 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・ すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 空調設備を確認してください。
- ・ しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・ 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・ 消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・ 感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・ 故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

4) その他

- ・ 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・ 質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・ 冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・ 車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・ 機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・ 落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・ 規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・ 強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・ 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・ 大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

● 定期的なお手入れをおすすめします

- ・ ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・ お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

- ・ 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

- ・ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

- ・ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

..... 目次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
保証規定.....	III
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 構 成.....	2
3. 各部の名称と働き.....	3
1. MF-90V 正面.....	3
2. MF-90V 背面.....	6
4. 電源の投入・切断.....	8
1. 基本接続.....	8
2. 電源投入.....	8
3. 電源切断.....	8
5. 操作方法.....	9
1. 基本操作.....	9
2. ファイル.....	11
3. 映像の送付.....	12
4. 映像キャプチャー.....	14
5. ファイル編集.....	16
6. ファイル管理.....	18
7. テストパターン.....	20
8. 外部入出力.....	20
9. システム設定.....	22
10. 各種情報表示モード [INFO].....	26
6. GPIO の制御タイミング.....	27
1. GPIO 接点入力タイミング.....	27
2. 動作開始タイミング.....	28
7. SNMP通信.....	30
1. 概要.....	30
2. ネットワークの設定.....	30
3. ネットワーク接続の確認.....	30
4. 工場出荷時設定.....	31
8. MIBデータについて.....	32
9. 外部インターフェース.....	36
1. GPI(D-sub 37pin (female)).....	36
2. ALARM OUT(D-sub 9pin (female)).....	37
10. トラブルシューティング.....	38
11. 保守・点検.....	39

1.	電源ヒューズの交換方法.....	39
12.	仕 様.....	40
1.	定 格.....	40
2.	性 能.....	41
13.	外形寸法図.....	42
1.	MF-90V.....	42

1. 概 説

MF-90VはHD SDI信号の音声付きの動画や静止画を録画・再生する装置で、ステーションマークやロゴマークなどを再生するのに便利です。

SDI FILL・KEY信号の録画による素材登録ができ、素材は内蔵半導体メモリに記録されますので長時間の連続運転にも安心してご利用いただけます。

《特 長》

- ✓ 音声付きの動画や静止画の録画・再生
- ✓ Y/Cb/Cr/A 4:2:2:4 10bit(動画・静止画)・48kHz 24bit LPCM 8ch(音声)を非圧縮で内蔵半導体メモリに記録
- ✓ 動画は HD 1080i59.94 に対応で 90 分まで記録が可能
- ✓ 静止画は HD 1080i59.94 に対応で 9600 枚まで記録が可能
- ✓ 動画のリピート再生
- ✓ 素材毎の表示位置調整
- ✓ GPI 制御による再生開始
- ✓ 次送出素材の確認や編集中ファイルのプレビューができる NEXT 出力
- ✓ 電源二重化対応
- ✓ SNMP 対応

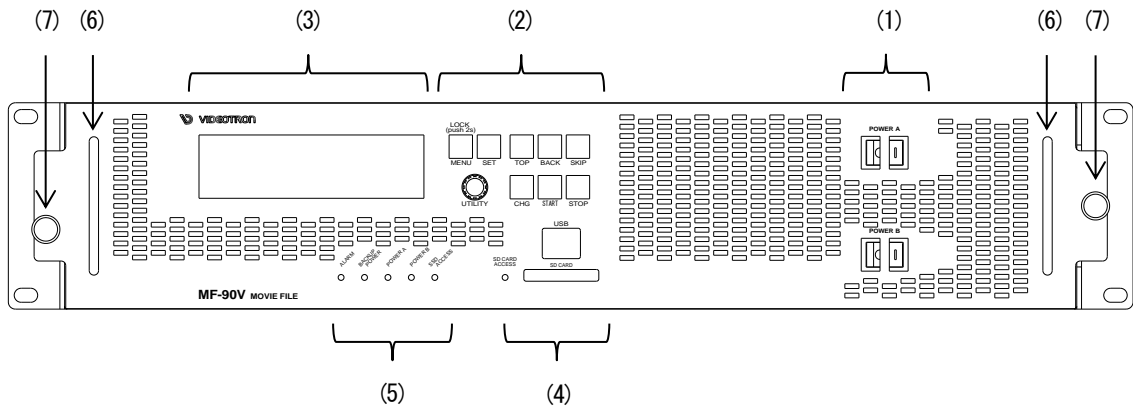
2. 構成

(1) MF-90V

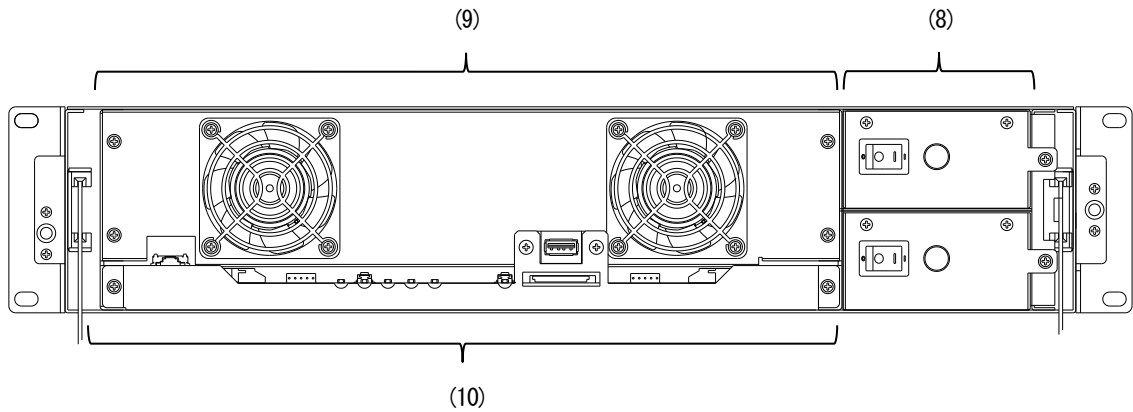
番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	ムービーファイル装置	MF-90V	1 台	
2	電源ケーブル		2 本	
3	マウントビス	5 mm	4 本	
4	GPIコネクタ	D-sub 37pin (male)	1 個	半田付けタイプ
5	GPIコネクタカバー	D-sub 37pin用ケース	1 個	
6	75Ω 終端器		1 個	REF信号終端用
7	取扱説明書		1 部	本書

3. 各部の名称と働き

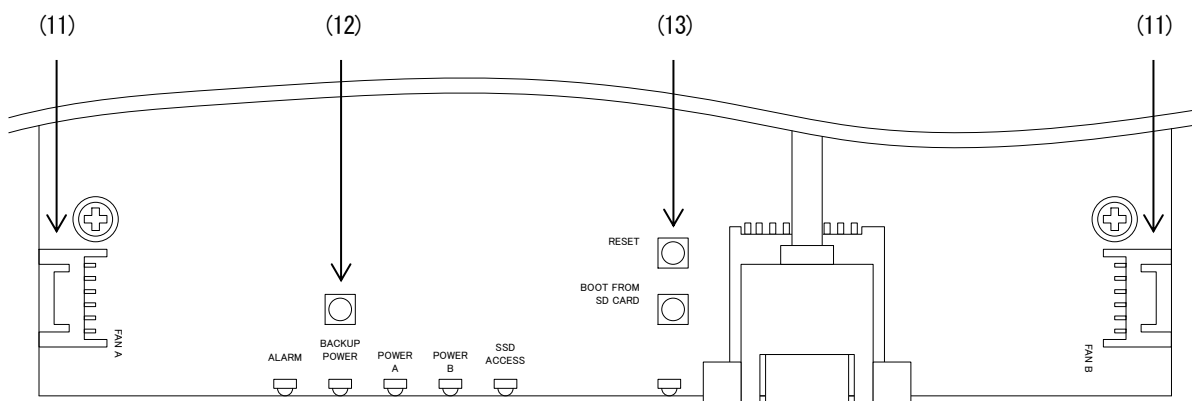
1. MF-90V 正面



MF-90V正面図(正面パネル取付時)



MF-90V正面図(正面パネル取外時)



MF-90V正面図(正面パネル取外時基板ユニット)

(1) 電源スイッチ A / B

電源ユニット A/Bの電源スイッチです。

誤操作防止のため操作穴が小さくなっていますので、指を入れ込むか、前面パネルを取り外して操作してください。

(2) 操作ボタン・ツマミ

各種操作を行うための操作ボタン類です。

<各種設定を行うときに使用>

・MENU 主に設定メニュー表示、およびキャンセルとして使用します。

2秒以上長押しすると、操作ボタン・ツマミをロックすることができます。

(再度2秒以上長押しで解除)

・SET 主に決定として使用します。

・UTILITY 主に項目・数値選択として使用します。

<素材選択・再生制御を行うときに使用>

・TOP, BACK, SKIP, CHG, START, STOP

くわしくは「5.操作方法」の項をご覧ください。

(3) 液晶表示器

素材・再生情報、および設定メニューを表示します。

(4) USB端子・SDカードスロット

使用しません。

※SDカードスロットは弊社サービスによるメンテナンス時に使用する場合がありますので、塞いだりしないでください。

(5) 状態表示ランプ

機体の状況を表すランプです。

・SSD ACCESS 内蔵半導体メモリ(SSD)のアクセス中、橙点灯します。

・POWER A / B 電源ユニットの稼働状態を示します。正常動作時は緑点灯、電圧低下・電源喪失時は橙点灯します。A/B両電源喪失時は消灯します。

・BACKUP POWER バックアップバッテリーの稼働状態を示します。正常動作時は緑点灯、電圧低下時は橙点灯します。未稼働時は消灯します。

・ALARM 異常が発生している場合、橙点滅します。異常の内容は液晶表示器で確認できます。

(6) 正面パネル脱着用取手

正面パネルを脱着する際に手をつかみます。

(7) 正面パネル固定ねじ

正面パネルを筐体に固定します。

正面パネルを脱着する際にゆるめます。

(8) 電源ユニット A / B

AC電源をDC電源に変換するユニットです。

A/Bは二重化されており、片方が稼働中であればもう片方を脱着しても動作に影響を与えません。

(9) 空冷ファンユニット

筐体内部を冷却するためのファンが装着されています。

(10) 基板ユニット

処理基板、半導体メモリおよびバッテリーが装着されています。

(11) 空冷ファン接続端子

空冷ファンユニットからの配線を接続します。

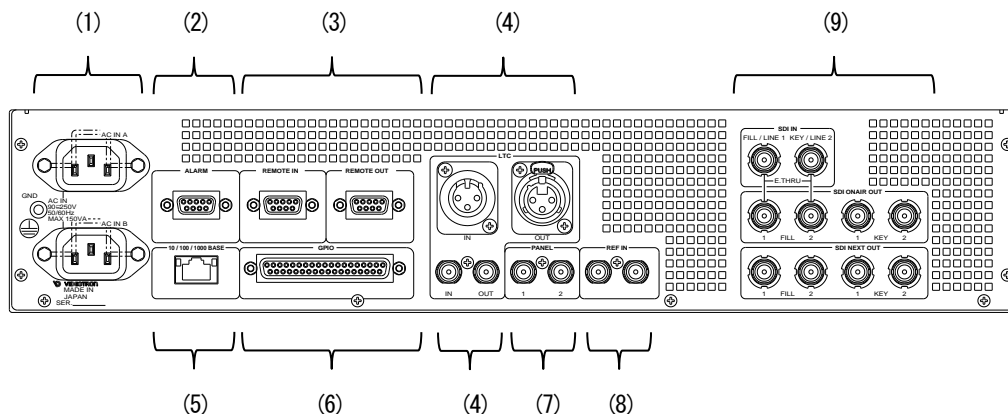
(12) バッテリーバックアップ強制停止スイッチ

バッテリーバックアップを強制的に停止します。

(13) リセットスイッチ

システムを再起動します。(通常は使用しないでください。)

2. MF-90V 背面



(1) AC電源入力A / B

AC電源入力です。AC IN A/Bは電源ユニットA/Bに対応しています。
定格で定められた電源を供給してください。

(2) アラーム接点出力端子

異常が発生した場合、MAKEされます。
くわしくは「9.外部インターフェース」の項をご覧ください。

(3) リモート操作制御端子

使用しません。

(4) LTC入出力端子

使用しません。

(5) LAN接続用RJ-45端子

各種制御・データ交換を行うためのLAN接続端子です。
10BASE-T, 100BASE-TX, 1000BASE-Tに対応しています。

(6) 接点入出力端子

接点制御用端子です。
くわしくは「9.外部インターフェース」の項をご覧ください。

(7) 専用パネル接続端子

使用しません。

(8) リファレンス入力端子

リファレンス信号を入力します。75Ω BNC同軸ケーブルで接続してください。

2つの端子はパススルーしていますので、どちらかに入力すればもう片方が出力となります。

カスケード接続しない場合は、空いているほうに75Ω 終端器を取り付けてください。

(9) SDI入出力端子

<SDI IN>

SDI映像を入力します。

- ・FILL / LINE1 映像録画時はFILL入力、スーパーインポーズモード時はライン入力として動作します。
- ・KEY / LINE2 映像録画時にKEY入力として動作します。

<SDI ONAIR OUT>

本線系SDI映像を出力します。

- ・FILL1/2 FILL映像が出力されます。
 ※FILL1, FILL2は同一の信号です。
- ・KEY1/2 KEY映像が出力されます。
 ※KEY1, KEY2は同一の信号です。

<SDI NEXTOUT>

素材確認・編集用SDI映像を出力します。

- ・FILL1/2 FILL映像が出力されます。
 スーパーインポーズモードではライン入力と合成されたプレビュー出力として
 動作します。
 ※FILL1, FILL2は同一の信号です。
- ・KEY1/2 KEY映像が出力されます。
 ※KEY1, KEY2は同一の信号です。

4. 電源の投入・切断

1. 基本接続

電源投入前に行う基本的な接続例を示します。

- (1) AC電源入力AおよびBに電源ケーブルを接続し、AC電源に接続します。
- (2) SDI IN FILL/LINE1に、素材源(VTR等)のFILL出力へ接続します。
- (3) SDI IN KEY/LINE2に、素材源(VTR等)のKEY出力へ接続します。
- (4) SDI ONAIR OUT FILL1を、後段の機器のFILL入力へ接続します。
- (5) SDI ONAIR OUT KEY1を、後段の機器のKEY入力へ接続します。
- (6) SDI NEXT OUT FILL1を、SDIモニターに接続します。
- (7) SDI NEXT OUT KEY1を、SDIモニターに接続します。
- (8) REF INの2つあるBNC端子のうち、どちらか片方にリファレンス信号を入力します。カスケード接続する場合はもう片方を後段の機器のリファレンス入力へ接続します。カスケード接続しない場合は75Ω終端器を取り付けます。

2. 電源投入

本体の電源を投入し、起動します。

- (1) 電源スイッチAおよびBをONにします。
- (2) 状態表示ランプのPOWER AおよびBが点灯します。電源入力が有効な場合は、緑色に点灯します。橙色に点灯、または消灯状態のときは電源異常です。電源供給、電源ケーブル、電源スイッチの状態を確認してください。
- (3) 液晶表示器にロゴが表示されます。
- (4) 起動が完了すると液晶表示器のロゴが消え、動作状態を示す表示になります。

3. 電源切断

動作を終了し、本体の電源を切断します。

- (1) 電源スイッチAおよびBをOFFにします。または、AC電源の供給を停止します。
- (2) 電源喪失を検知し、バッテリー動作により、終了処理が開始されます。
- (3) 終了処理が完了すると、状態表示ランプのPOWER AおよびBが消灯します。

※電源切断後に再度電源を投入する場合は、状態表示ランプが全て消灯した後に電源投入してください。

※1分以上たっても状態表示ランプが全て消灯しない場合は、バッテリーバックアップ強制停止スイッチを押して強制終了させてください。

5. 操作方法

1. 基本操作

電源投入・起動が完了すると、液晶表示器に現在の動作状態、およびSDI映像出力(初期設定ではNEXT OUT FILL)の映像イメージが表示されます。(図5-1-1)

また、SDI映像出力のNEXT OUT FILL/KEYには選択素材のステータスが表示されます。(図5-1-2)

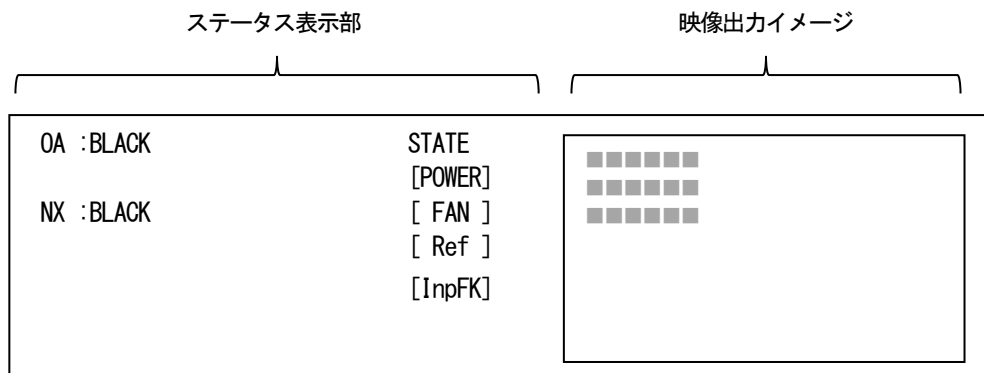


図5-1-1 起動直後の液晶表示器表示例



図5-1-2 起動直後のSDI NEXT OUT映像表示例

ステータス表示状態で、前面パネル「MENU」ボタン(以下MENU)に略、他の操作ボタン類についても同様)を押すと、メニュー表示に切り替わります。(図5-1-3 映像出力イメージは略、以下同)(図5-1-4)

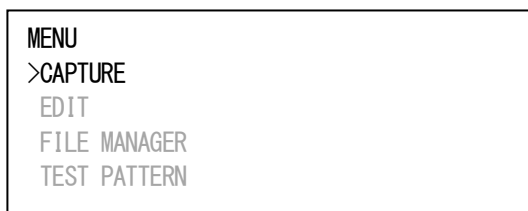


図5-1-3 液晶表示器メニュー表示例



図5-1-4 SDI NEXT OUT映像メニュー表示例

メニュー操作に入った場合の、操作ボタン類の主な機能は以下のようになります。

- MENU** : メニュー操作終了、メニュー階層を一つ上がる、キャンセル
SET : メニュー階層を一つ下がる、決定
UTILITY : メニュー項目選択、設定項目・数値選択

メニュー操作の主な手順を示します。

- (1) ステータス表示状態で、**MENU**を押します。**MENU**が点滅します。
- (2) **UTILITY**を回転させ、メニュー項目を選択します。
現在選択されている項目にはカーソル(>)が表示されています。
- (3) **SET**を押します。
- (4) 設定項目が表示されます。(下層のメニュー項目がある場合は、目的の設定項目が表示されるまで(2)~(3)を繰り返す)
- (5) **UTILITY**を回転させ、設定項目、数値等を選択します。
- (6) 設定を確定させる場合は**SET**を押します。設定を変更せずにキャンセルする場合は**MENU**を押します。
- (7) 引き続き他の項目を設定したい場合は(2)~(6)を繰り返します。
- (8) メニュー階層を一つ上がりたい場合は、**MENU**を押します。
- (9) 最上位のメニュー階層で**MENU**を押すと、メニュー操作を終了し、ステータス表示に戻ります。
MENUが消灯します。

<メニューツリー>

以降の説明において、メニューの構造を示すメニューツリー図の凡例を図5-1-5に示します。

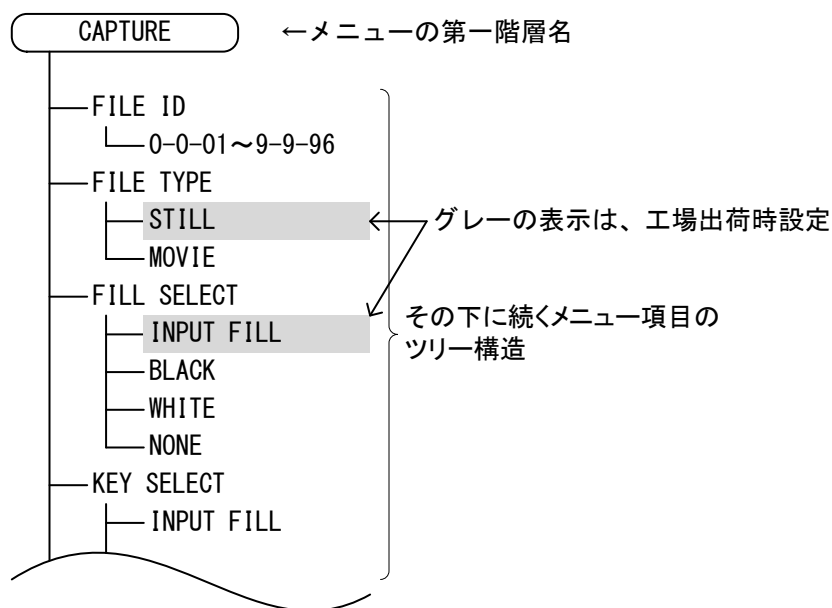


図5-1-5 メニューツリー図凡例

2. ファイル

ファイル(再生素材)は本体内蔵の半導体メモリに保存されます。

ファイルはさらに動画ファイル、静止画ファイルに分類され、FILL動画・KEY動画・音声が一組となり一つの動画ファイルを、FILL静止画・KEY静止画・音声が一組となり一つの静止画ファイルを構成します。(図5-2-1)

ただし、FILL・KEY・音声の各要素のうち不必要な要素がある場合(KEY不要、音声不要等)がある場合、当該要素が欠けたファイルとすることもできます。

ファイルは0-0-01~9-9-96の番号(ファイルID)で管理されています。

ファイル管理の大分類としてプログラム、小分類としてページと表現しています。

96ファイル(ファイル01~96)が集まりPAGE、10ページ(ページ0~9)が集まりプログラムとなり、10プログラム(プログラム0~9)が用意されています。(図5-2-2)

動画・静止画でファイルIDの分けはなく、動画・静止画が混在した再生シーケンスを構築することができます。

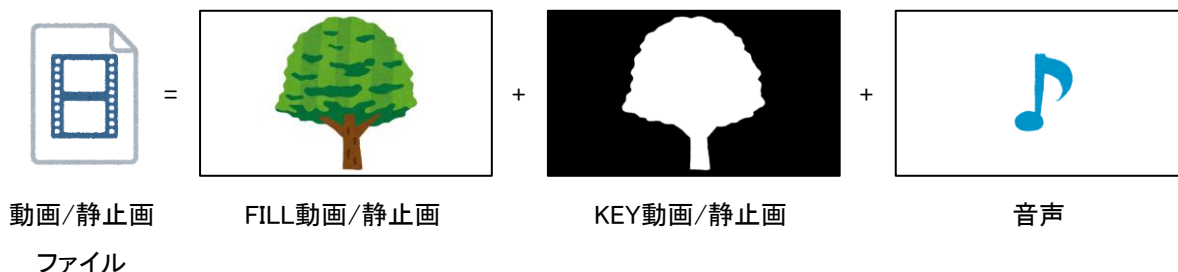


図5-2-1 ファイルの基本構造

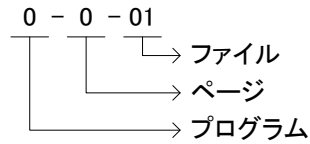


図5-2-2 ファイルID構造

3. 映像の送出

〈映像送出の基本動作〉

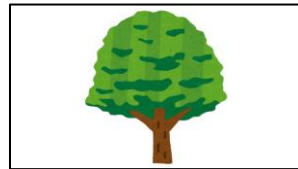
映像出力は、“ON AIR”と“NEXT”の2系統に分けられます。

ON AIRは本線出力、NEXTはON AIRに出力する前にファイルの準備・確認をするための出力です。

基本動作では、本体起動直後はON AIR、NEXT共に黒画面が出力されています。

ファイルを選択すると先にNEXTに出力されます。その後、チェンジ(CHG)動作によりON AIRに出力され、同時に次候補ファイルが自動的にNEXTに出力されます。

基本動作の例を図5-3-1に示します。



ファイル0-0-01



ファイル0-0-02

(ファイル0-0-01の次候補ファイル)

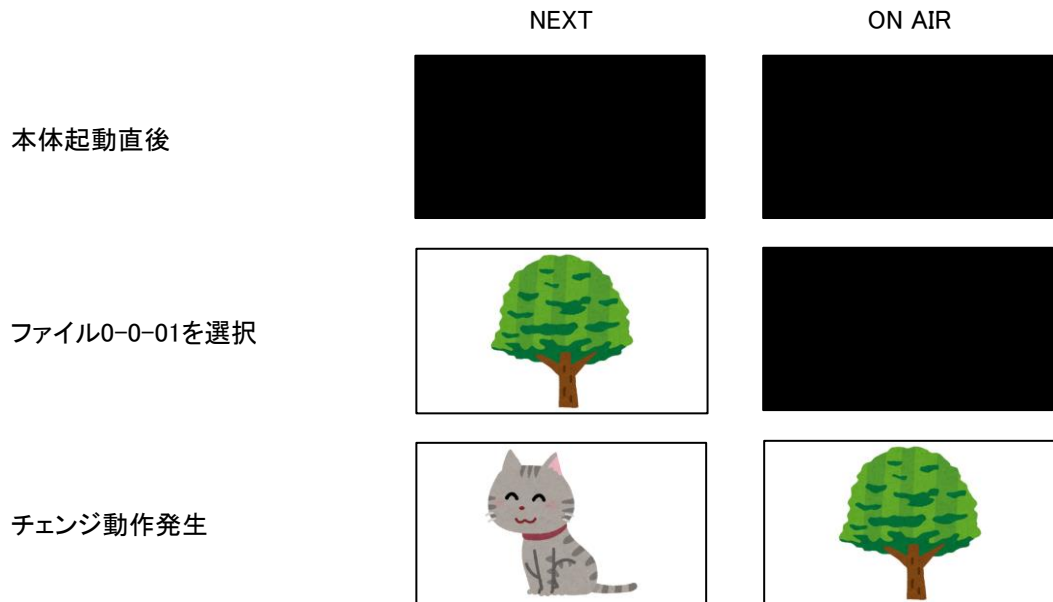


図5-3-1 映像送出の基本動作例

＜ON AIRのスタンバイ＞

ファイルが動画、または音声付き静止画の場合、チェンジ動作等によりON AIRに出力された直後のファイルは、基本動作では当該ファイルの先頭で再生一時停止状態となっています。(スタンバイ状態)

スタンバイ状態では[STOP]が点灯し、スタンバイ状態であることを示します。この状態で[START]を押す等してスタート動作が発生すると再生が開始され、[STOP]が消灯し[START]が点灯します。(図5-3-2)

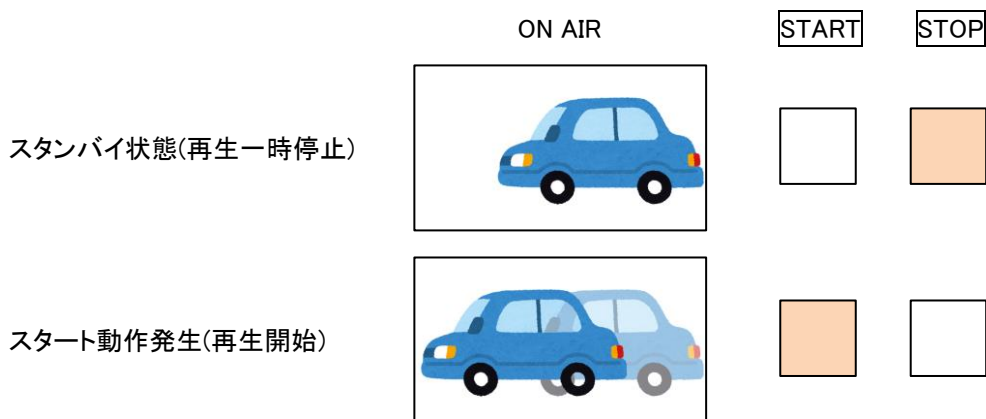


図5-3-2 ON AIRのスタンバイ状態

＜操作手順＞

本体前面パネルの操作による映像の送出手順です。

主に、[TOP] [BACK] [SKIP] [CHG] [START] [STOP]を使用します。

(1) 液晶表示器にステータス画面が表示されている([MENU]が消灯している)ことを確認します。

(2) [TOP] [BACK] [SKIP]で送出するファイルを選択します。

- | | |
|--------|---------------------|
| [TOP] | 先頭ファイルをNEXTに出力します。 |
| [BACK] | 前候補ファイルをNEXTに出力します。 |
| [SKIP] | 次候補ファイルをNEXTに出力します。 |

また、[UTILITY]と[SET]を使用した選択も可能です。

- | | |
|-----------|-----------------------|
| [UTILITY] | 送出ファイルを選択します。 |
| [SET] | 選択されたファイルをNEXTに出力します。 |

(3) 送出開始タイミングで、[CHG]を押し、ON AIRに出力します。

(4) 動画または音声付き静止画の場合は、再生開始タイミングで[START]を押し、再生を開始します。

(5) 再生中に[STOP]を押すと停止します。停止中に[STOP]を押すとファイルの先頭に戻り、スタンバイ状態となります。

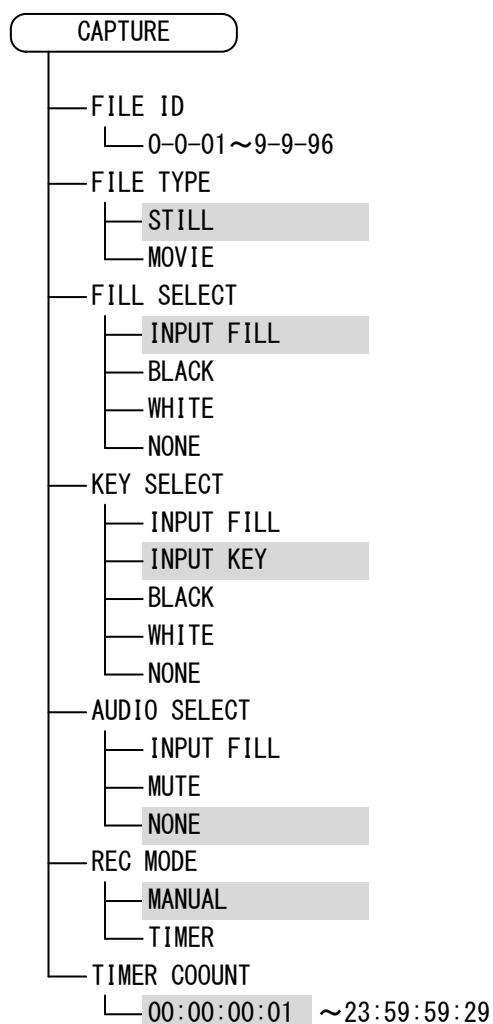
4. 映像キャプチャー

SDI入力映像をキャプチャーし、動画、静止画または音声付静止画ファイルとして保存することができます。

<操作手順>

- (1) メニュー“CAPTURE”の階層に入ります。
- (2) “FILE ID”以外の各パラメーターを指定します。
- (3) “FILE ID”を選択し、**SET**を押します。
- (4) カーソルが番号側に移動するので、**UTILITY**を回してファイルIDを指定します。
- (5) そのまま**SET**を押すとキャプチャーを開始します。
- (6) 再度**SET**を押すと、キャプチャーを停止します。
- (7) 「REC MODE」で「TIMER」が選択されている場合、「TIMER COUNT」で指定された時間が経過すると自動的にキャプチャーを停止します。

<機能説明>



- ・ FILE ID
 キャプチャー映像を記録するファイルIDを指定します。
- ・ FILE TYPE
 キャプチャー映像のファイルタイプを指定します。

STILL	静止画キャプチャー
MOVIE	動画キャプチャー
- ・ FILL SELECT
 FILL要素の素材を選択します。

INPUT FILL	SDI INのFILL入力をキャプチャーします。
BLACK	内部発生0%黒をキャプチャーします。
WHITE	内部発生100%白をキャプチャーします。
NONE	FILL要素をキャプチャーしません。 上書き動作時は、先にあったファイルのFILL要素が残されます。
- ・ KEY SELECT
 KEY要素の素材を選択します。

FILL	SDI INのFILL入力の輝度成分を、KEY入力としてキャプチャーします。
KEY	SDI INのKEY入力をキャプチャーします。
BLACK	内部発生0%黒をキャプチャーします。
WHITE	内部発生100%白をキャプチャーします。
NONE	KEY要素をキャプチャーしません。 上書き動作時は、先にあったファイルのKEY要素が残されます。
- ・ AUDIO SELECT
 音声要素の素材を選択します。

INPUT FILL	SDI INのFILL入力のエンベデッド音声を録音します。
MUTE	無音を録音します。
NONE	音声を録音しません。 上書き動作時は、先にあったファイルの音声要素が残されます。
- ・ REC MODE
 動画、または静止画の音声要素の記録時間に関するモード選択です。

MANUAL	キャプチャー開始後、手動で停止します。
TIMER	キャプチャー開始後、あらかじめ“TIMER COUNT”で設定した時間が経過すると自動的に停止します。
- ・ TIMER COUNT
 “REC MODE”で“TIMER”を選択した場合の記録時間を指定します。
 表示は、時:分:秒:フレーム(HH:MM:SS:FF)です。

5. ファイル編集

各ファイルの属性を指定します。

<操作手順>

- (1) “FILE ID”で、編集対象のファイルIDを指定します。※
- (2) 必要に応じて、各パラメーターを設定します。
- (3) 他のファイル編集を継続する場合は(1)～(2)を繰り返します。

※ON AIR、NEXTでスタンバイ・再生状態のファイルは編集がキャンセルされます。

<機能説明>



- ・ FILE ID
編集対象のファイルIDを指定します。
- ・ LOCK
ファイルの編集をロックします。

OFF	編集可
ON	編集不可

・ TRANS TYPE

次ファイルに切り替わる際のエフェクトを指定します。

CUT	カットで切り替わります。
FADE_K/_A/_KA	指定要素がフェードで切り替わります
DISLV	クロスフェードで切り替わります※
SLIDE ↑ / ↓ / ← / →	指定方向にスライドして切り替わります※
SCROLL ↑ / ↓ / ← / →	指定方向にスクロールして切り替わります※
SIDE WIPE ↑ / ↓ / ← / →	指定方向にワイプして切り替わります※
CENT WIPE ↑ / ↓ / ← / →	縦、横方向のオープン、クローズワイプです。※

※静止画ファイルでのみ指定可

・ TRANS SPEED

次ファイルに切り替わる際のエフェクト時間を指定します。

単位は、フレームです。

・ PLAY IN

動画、音声付静止画の再生開始フレームを指定します。(先頭カット)

※最大値は、「PLAY OUT」の値未満に制限されます。

・ PLAY OUT

動画、音声付静止画の再生終了フレームを指定します。(後尾カット)

実際に再生される最終フレームは、指定フレームの1フレーム前になります。

(PLAY OUT - PLAY INが実再生時間となります。)

※最小値は、「PLAY IN」を超える値に制限されます。

・ OFFSET FILL / KEY / AUDIO

FILL・KEY・AUDIO各要素の、PLAY INを基準とした相対的な再生開始フレームを指定します。

素材の範囲を超える指定も可能です。(超えた部分は黒画面ないし無音となります。)

・ POSITION H

水平方向の表示位置を指定します。、指定範囲は-1920~1920です。

マイナスで画面左方向、プラスで画面右方向に移動します。

・ POSITION V

垂直方向の表示位置を指定します。

設定単位は2[ライン]、指定範囲は-1080~1080です。

マイナスで画面上方向、プラスで画面下方向に移動します。

・ REPEAT

再生終了時、同一ファイルの再生を自動的に開始します。

・ END ACTION

再生終了時の動作を指定します。(「REPEAT」設定がON時は無効)

FREEZE	ファイルの最終フレームを表示したまま停止します。
BLACK	黒画面を表示して停止します。
CHANGE	次ファイルをON AIR出力にスタンバイして停止します。
CONTINUE	次ファイルをON AIR出力に再生します。
AUTO REWIND	ファイルの先頭に戻り、ON AIR出力にスタンバイして停止します。

6. ファイル管理

ファイルの消去、複写等のファイル管理ができます。

<操作手順>

- (1) “COPY” “MOVE” “DELETE” “LOCK” “FORMAT”のいずれか実行したいコマンドを選択します。
- (2) “FILE ID” “SRC FILE” “DST FILE”の項がある場合は、対象ファイルを指定します。
- (3) “EXECUTE”を選択します。
- (4) “YES” “NO”の実行確認が示されます。実行する場合は“YES”を選択し[SET]、キャンセルする場合は“NO”を選択し[SET]、または[MENU]を押してください。

<共通操作>

a) FILE ID・SRC FILE

操作対象となるファイルを選択します。

SEL ファイルを個別に選択します。右側に表示される数字がファイルIDです。ファイルを選択し、[SET]で反転表示となり、選択状態になります。

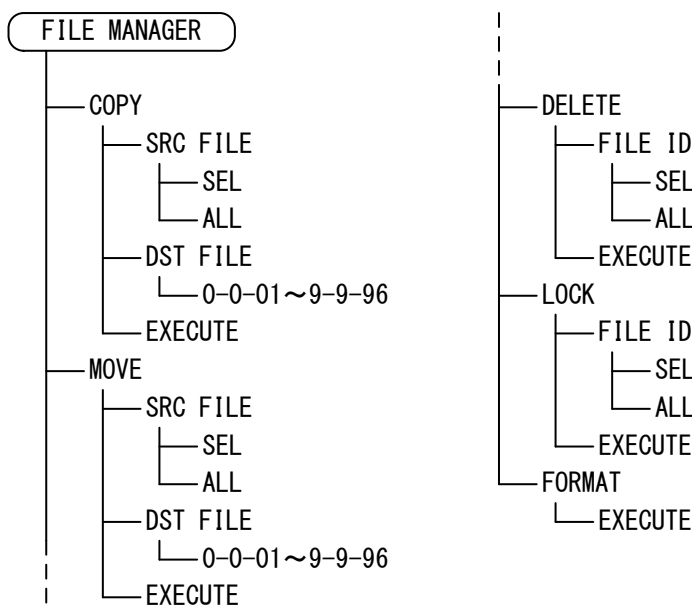
また、選択状態のファイルに再度[SET]で選択解除されます。

選択を終了する場合は、[MENU]を押します。

ALL ファイルの選択状態を反転します。全解除状態で実行した場合は全選択、全選択状態で実行した場合は、全解除されます。

全選択・全解除実行後は、“SEL”と同様の動作に移行します。

<機能説明>



- ・ COPY
 ファイルを複写します。

SRC FILE	複写元のファイルを選択します。(複数選択可)
DST FILE	複写先のファイルIDを選択します。複写元のファイルが複数指定されている場合は、このファイルIDを起点とした連番として複写されます。
EXECUTE	複写を実行します。
- ・ MOVE
 ファイルを移動します。

SRC FILE	移動元のファイルを選択します。(複数選択可)
DST FILE	移動先のファイルIDを選択します。移動元のファイルが複数指定されている場合は、このファイルIDを起点とした連番として移動されます。
EXECUTE	移動を実行します。
- ・ DELETE
 ファイルを削除します。

FILE ID	削除するファイルを選択します。(複数選択可)
EXECUTE	削除を実行します。
- ・ LOCK
 ファイルの編集・移動・入れ替え・削除の禁止(ロック)状態を反転します。

FILE ID	ロックするファイルを選択します。(複数選択可)
EXECUTE	ロックを実行します。
- ・ FORMAT
 ドライブを初期化します。LOCK指定にかかわらず、全ファイルが消去されます。

EXECUTE	初期化を実行します。
---------	------------

7. テストパターン

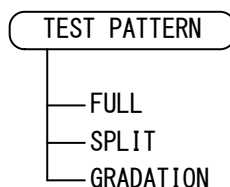
あらかじめ内蔵されているテストパターンを出力できます。

* テストパターンを読み出し時、ONAIRで動画再生中の場合、一時停止する場合があります。

<操作手順>

- (1) 出力したいパターンを選択します。
- (2) NEXTに、当該パターンが出力されます。
- (3) ON AIRに出力する場合は、通常の素材と同様の送出操作を行います。

<機能説明>

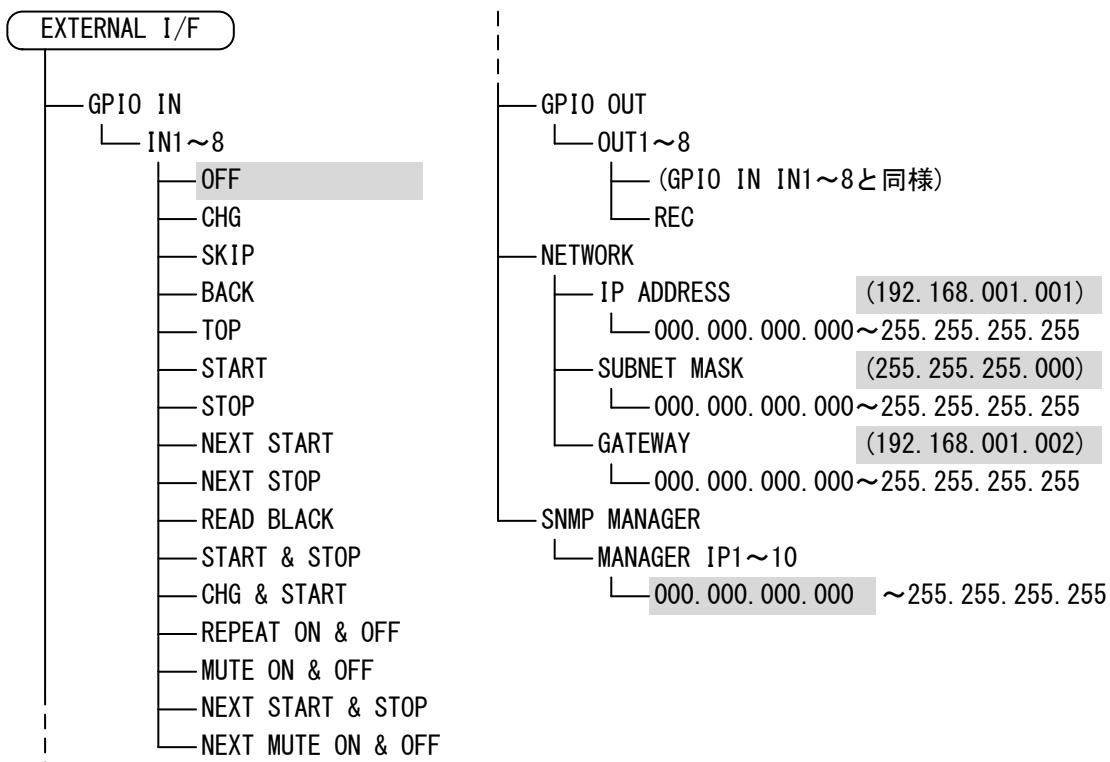


FULL	フルフィールド100%カラーバー
SPLIT	SMPTE75%カラーバー
GRADATION	輝度ランプ

8. 外部入出力

本体背面のGPIO端子・LAN端子に関する設定です。

<機能説明>



- GPIO IN

本体背面GPIO端子の、接点入力1～8に対する機能割り当てを指定します。

OFF	機能割当無し
CHG	NEXTに読み出されているファイルをON AIRに出力します。
SKIP	次の候補ファイルをNEXTに読み出します。
BACK	前の候補ファイルをNEXTに読み出します。
TOP	最も番号の小さい登録ファイルをNEXTに読み出します。
START	ON AIR出力中のファイルの再生を開始します。
STOP	ON AIR出力中のファイルの再生を一時停止します。 再生停止中は動画/ロールファイルの先頭フレームを 読み出します。
NEXT START	NEXT出力中のファイルの再生を開始します。
NEXT STOP	NEXT出力中のファイルの再生を一時停止します。 再生停止中はファイルの先頭フレームを読み出します。
READ BLACK	黒画面にCHGします。
START & STOP	接点入力MAKEで再生開始、BREAKで再生停止。
CHG & START	接点入力MAKEで再生開始、BREAKで素材チェンジ。
REPEAT ON & OFF	接点入力MAKEでリピート再生ON、BREAKでリピート再生OFF。
MUTE ON & OFF	接点入力MAKEで音声MUTE ON、BREAKでOFF。
NEXT START & STOP	接点入力MAKEでNEXT再生開始、BREAKで再生停止。
NEXT MUTE ON & OFF	接点入力MAKEでNEXT音声MUTE ON、BREAKでOFF。

- GPIO OUT

本体背面GPIO端子の、接点出力1～8に対する機能割り当てを指定します。

OFF	機能割当無し
CHG ~	
NEXT MUTE ON & OFF	GPIO INの同名機能に対応した、単純なエコーバックです。
REC	キャプチャー実行中にMAKEされます。

- NETWORK

LAN接続用RJ-45端子を使用してネットワーク接続する場合の設定です。

IP ADDRESS	IPアドレスを指定します。
SUBNET	サブネットマスクを指定します。
GATEWAY	デフォルトゲートウェイを指定します。

- SNMP MANAGER

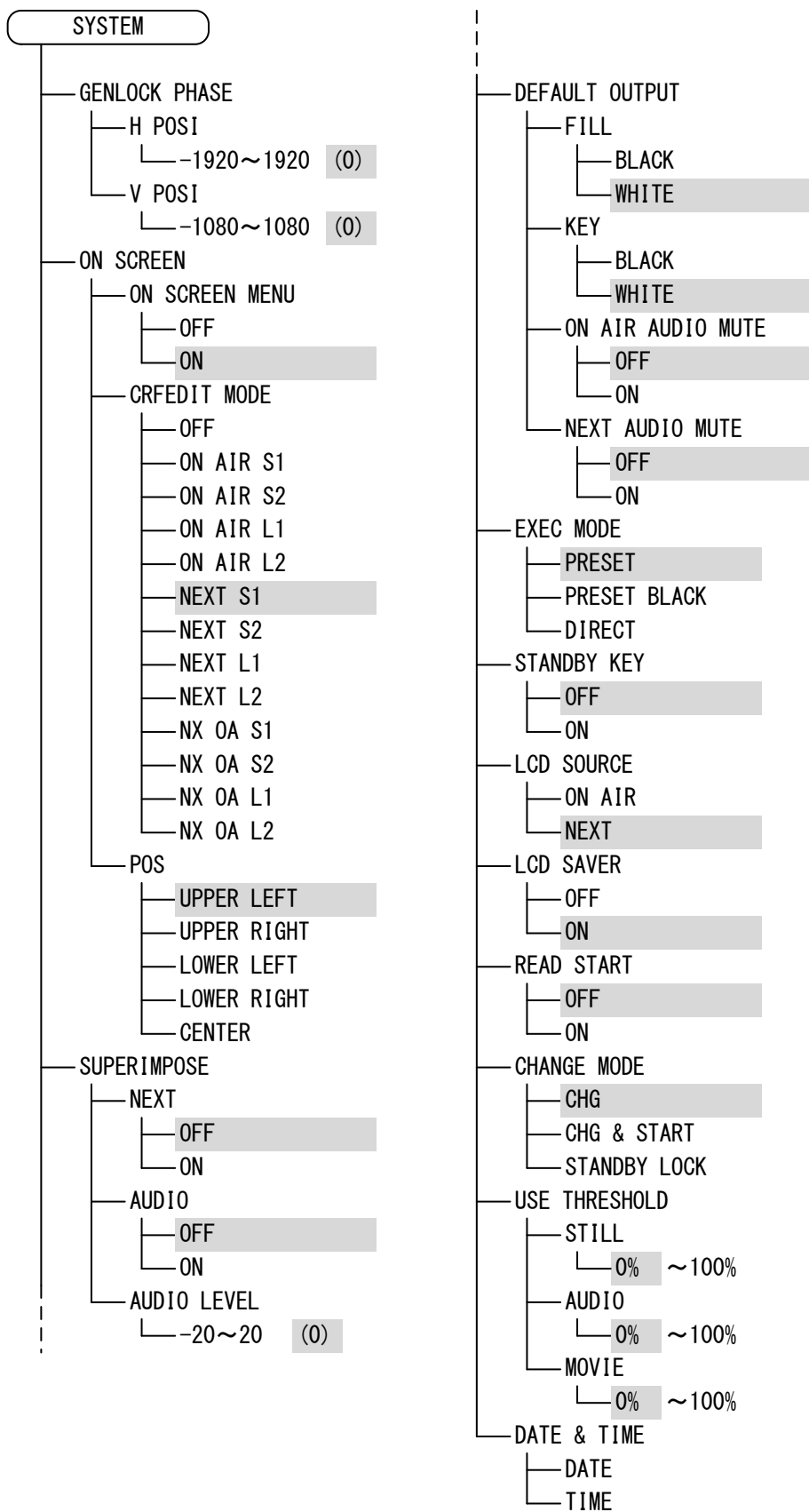
SNMPに関する設定です。

MANAGER IP1～10 トラップ動作を通知するIPアドレスを指定します。

9. システム設定

各種動作に関する設定ができます。

<機能説明>



・ GENLOCK PHASE

リファレンス信号に対する、SDI出力のシステム位相を指定します。

H POSI・V POSI共に0で、SDI出力の位相はリファレンス信号と同相になります。

H POSI SDI出力位相をドットクロック単位で指定します。

1ポイントは1ドットクロックです。

プラスで遅れ、マイナスで進み位相になります。

V POSI SDI出力位相をライン単位で指定します。

1ポイントは1ラインです。

プラスで遅れ、マイナスで進み位相になります。

・ ON SCREEN

オンスクリーンメニュー・クレジット表示に関する設定です。

a) ON SCREEN MENU

NEXT出力へのオンスクリーンメニュー表示の有無を指定します。

OFF 表示なし

ON 表示あり

b) CREDIT MODE

クレジット情報(ファイル属性)表示の有無、形式を指定します。

OFF 表示なし

ON AIR ** ON AIRスタンバイ時、ON AIR出力にクレジット情報を表示します。
(STANDBY KEYがON時は表示されません。)

NEXT ** NEXT出力に、NEXTファイルのクレジット情報を表示します。

NX OA ** NEXT出力に、ON AIRファイルのクレジット情報を表示します。

*** S1 小サイズクレジット 様式1

*** S2 小サイズクレジット 様式2

*** L1 大サイズクレジット 様式1

*** L2 大サイズクレジット 様式2

c) CREDIT POS

クレジット情報表示の位置を指定します。

UPPER LEFT 画面左上

UPPER RIGHT 画面右上

LOWER LEFT 画面左下

LOWER RIGHT 画面右下

CENTER 画面中央

・ SUPERIMPOSE

SDI IN FILL/LINE1をライン入力として、NEXT FILL出力から素材をスーパーインポーズして出力します。

NEXT NEXT出力のスーパーインポーズを有効にします。

AUDIO ラインオーディオを有効にします。

AUDIO LEVEL ラインオーディオのレベルを設定します。

・ DEFAULT OUTPUT

ファイル再生時の映像・音声出力を設定します。

a) FILL

FILL要素のないファイルを再生時のFILL出力を指定します。

BLACK 黒画面を出力します。

WHITE 100%白画面を出力します。

b) KEY

KEY要素のないファイルを再生時のKEY出力を指定します。

BLACK 黒画面を出力します。

WHITE 100%白画面を出力します。

c) AUDIO ON AIR MUTE

ON AIR側で再生する際の音声のミュートを指定します。

OFF 音声を出力します。

ON 音声をミュートします。

d) AUDIO NEXT MUTE

NEXT側で再生する際の音声のミュートを指定します。

OFF 音声を出力します。

ON 音声をミュートします。

・ EXEC MODE

送出の動作モードを指定します。

PRESET 通常の送出モードです。

PRESET BLACK チェンジ動作時、次素材との間に黒画面を挟みます。

DIRECT ファイル指定時、ON AIRへ即座に出力し、NEXTには次候補ファイルを出力します。

・ STANDBY KEY

ON AIRスタンバイ時、ON AIR KEY出力の有無を指定します。

OFF KEY出力なし(黒画面)

ON KEY出力あり

・ LCD SOURCE

液晶表示器の映像出力イメージに表示するソースを選択します。

ON AIR ON AIR FILL

NEXT NEXT FILL

・ LCD SAVER

液晶表示器のスクリーンセイバー動作を指定します。

OFF スクリーンセイバーOFF

ON スクリーンセイバーON(一定時間経過すると消灯します。)

- READ START

送出の動作モードがDIRECTの時、ファイルのON AIR送出時の動作を指定します。

- OFF ファイル送出時、動画/ロールをスタンバイ状態にします。
- ON ファイル送出と同時に動画/ロールを再生します。

- CHANGE MODE

チェンジ動作時後のON AIRの再生状態を指定します。

- CHG 通常動作(スタンバイ状態)
- GHG & START スタンバイ状態を経ず、即座に再生を開始します。
- STDBY LOCK スタンバイ状態となりますが、再生開始または再生停止するまでCHG・TOP・BACK・SKIPの入力を無効にします。

- DPANEL SEND

チェンジ動作時後のON AIRの再生状態を指定します。

- PROGRAM END 当該プログラムの最終ファイルの後、黒画面になります。
- PROGRAM LOOP 当該プログラムの最終ファイルの後、当該プログラムの先頭ファイルに戻ります。
- PAGE END 当該ページの最終ファイルの後、黒画面になります。
- PAGE LOOP 当該ページの最終ファイルの後、当該ページの先頭ファイルに戻ります。

- USE THRESHOLD

SNMPマネージャーにディスク使用量をトラップで通知する為の閾値を設定します。

STILL/AUDIO/MOVIEそれぞれに使用量の閾値をパーセンテージで設定します。

設定値0%はマネージャーへのディスク使用量トラップ通知を行いません。

- DATE & TIME

システム時計の設定です。

- DATE 年月日を設定します。
- TIME 時分秒を設定します。

10. 各種情報表示モード [INFO]

本体のバージョン情報、ディスク使用量、ネットワークの状態等を表示します。

- ・ VERSION
ハード/ソフトのバージョン情報を表示します。
- ・ DISK INFO
ディスク使用量を表示します。
- ・ NET STATUS
ネットワークの接続状態、およびMACアドレスを表示します。

6. GPIOの制御タイミング

GPIO 端子より接点入力による制御ができます。

1. GPIO 接点入力タイミング

接点入力は映像出力フレームに同期して管理されており、そのタイミングはリファレンス信号を基準に定義されます。

動作開始の起点となるフレーム開始点を基準点とし、その前後の規定時間(10.0ms 前~0.5ms 後)以内に遷移を完了させてください。

※映像出力のシステム位相(GENLOCK PHASE U PSI, V POS)が0の場合。システム位相調整されている場合は、その時間と同じだけ基準点が移動します。

※規定時間外の遷移でも動作しますが、動作開始タイミングが一定値(インターレース±1フレーム)不確定になります。

図 6-1-1 に BREAK→MAKE 遷移時のタイミング図を示します。(MAKE→BREAK 遷移時は、GPIO 接点入力が逆波形)

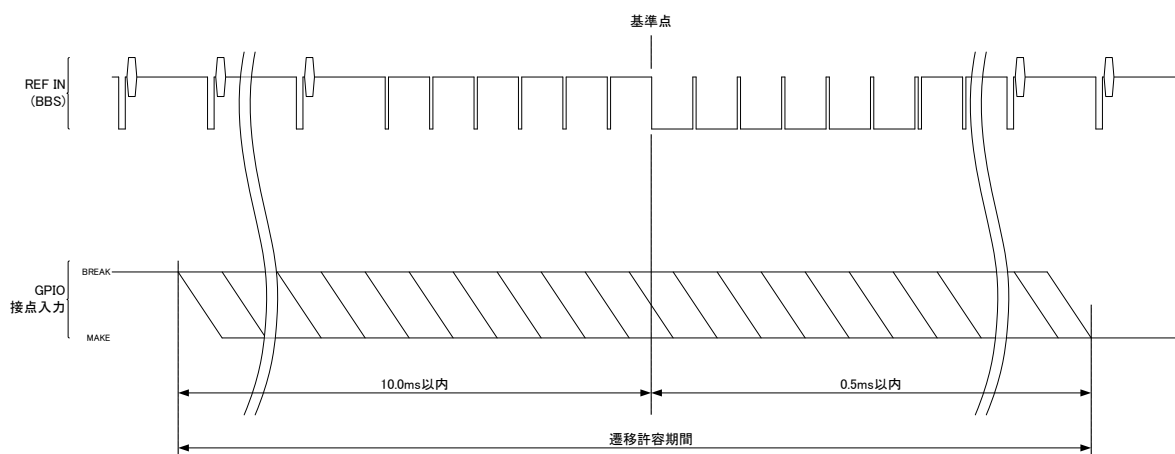


図6-1-1 GPIO接点入力タイミング

2. 動作開始タイミング

GPIO 接点入力を検知後、あらかじめ割り当てられた機能に従い動作を開始します。

a) トリガー動作

GPIO 接点入力が BREAK→MAKE に遷移したタイミングを起点とし、規定フレーム(8 フレーム)経過後に指定された動作が発生します。

MAKE→BREAK の復帰タイミングは、最低時間(100ms)経過後であれば、遷移タイミング規定にとらわれず任意のタイミングで問題ありません。(図 6-2-1)

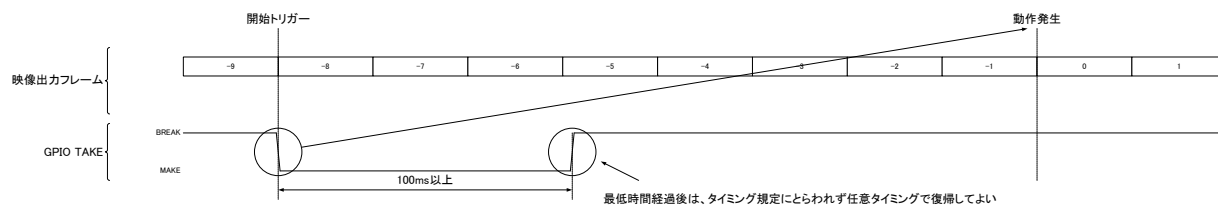


図6-2-1 トリガー動作タイミング例

動作名称	動作内容
OFF	無し
CHG	CHG
SKIP	SKIP
BACK	BACK
TOP	TOP
START	ON AIR START
STOP	ON AIR STOP
NEXT START	NEXT STARAT
NEXT STOP	NEXT STOP
READ BLACK	黒画面にCHG

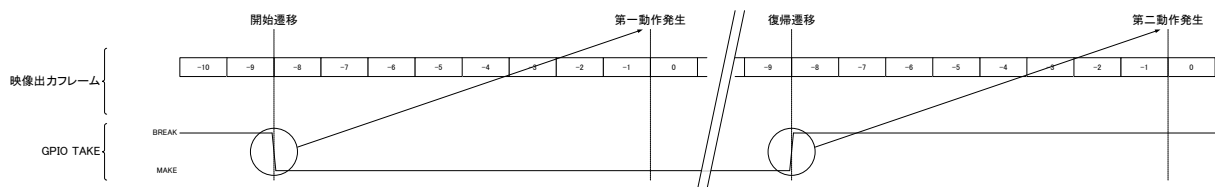
表6-2-1 トリガー動作内容

b) オルタネート動作

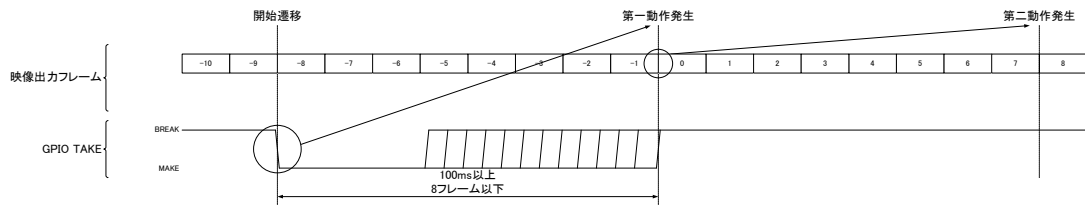
GPIO 接点入力が BREAK→MAKE に遷移したタイミングを起点とし、規定フレーム経過後に指定された動作の第一動作が発生します。

その後、MAKE→BREAK に復帰したとき、遷移したタイミングを起点とし、規定フレーム経過後に指定された動作の第二動作が発生します。(図 6-2-2(a))

開始遷移から規定フレーム以下の時間で復帰した場合、その期間が 100ms 以上であれば、規定フレーム期間の入力があったものとみなして動作します。(図 6-2-2(b))



(a)



(b)

図6-2-2 オルタネート動作タイミング例

動作名称	開始遷移方向	第一動作	第二動作
START & STOP	BREAK → MAKE	START	STOP
CHG & START	BREAK → MAKE	START	CHG
REPEAT ON & OFF	BREAK → MAKE	REPEAT	REPEAT解除
MUTE ON & OFF	BREAK → MAKE	ON AIR音声ミュート	ON AIRミュート解除
NEXT START & STOP	BREAK → MAKE	NEXT再生開始	NEXT再生停止
NEXT MUTE ON & OFF	BREAK → MAKE	NEXT音声ミュート	NEXTミュート解除

表6-2-2 オルタネート動作内容

7. SNMP通信

1. 概要

MF-90Vは本体のステータスを監視し、ステータスの変化を検出しトラップを送ることができます。

マネージャーからの要求に応じ管理情報(MIB)を送ることができます。SNMPバージョン1に対応しています。

2. ネットワークの設定

MENUを押して、メニューモードに入ってから**SELECT**と**SET**で「EXTERNAL I/F - NETWORK」を選択し、**SELECT**と**SET**で各アドレス(IP ADDRESS、SUBNETMASK、GETEWAY)を設定します。

「EXTERNAL I/F - SNMP MANAGER」を選択し、**SELECT**と**SET**で MANAGER IP ADDRESSを設定します。

PC側のネットワークの設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

※ 他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように注意してください。

※ 接続できない時や不明な点がある時は、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3. ネットワーク接続の確認

MF-90VとPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを“ping”コマンドで確認します。

ここでは仮にMF-90VのIPアドレスを「192.168.1.1」とします。

・ Windowsの場合

スタート>すべてのプログラム>アクセサリ>コマンドプロンプトを起動します。

コマンドプロンプトで“ping 192.168.1.1”と入力し、以下のメッセージが表示されるのを確認してください。

```
C:\>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\>
```

“Reply from ……”と表示されればOKですが、“Request timed out.”のメッセージが表示された場合、PCクライアントからの接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、MF-90VおよびPCクライアントのネットワーク設定を確認してください。

4. 工場出荷時設定

MF-90V のデフォルト IP アドレス設定は下記のとおりです。

IP	192.168. 1. 1
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	192.168. 1. 2
マネージャIP 1~10	0. 0. 0. 0
コミュニティ	VIDEOTRON ※変更不可

8. MIBデータについて

OID=[1.3.6.1.4.1.20120.20.2024.項番.0]

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バリエーション数	規格	実装例	SYNTAX	トラップ
1	pid	R/O	80	CPUプログラム情報。	char PID[5][16]の内容 製品コード MF-90V 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 01.00.00 R00 製造日 2021/10/01 FRI 時 Build-19:31:16	SNMP_LTYIP_STRING	
3	product	R/O	4	機種コード	SNMP機種コードで登録した コード 2024	SNMP_LTYIP_INTEGER	
4	managerip1	R/W	4	マネージャのIPアドレス1	192.168.201.1 ※アドレスを0.0.0.0に設定するとトラップを発生しません。MF-90Vからのトラップ通知を行いたくない時に有用な設定です。	SNMP_LTYIP_IPADDRESS	
5	ipAddress	R/W	4	本体のIPアドレス	192.168.201.2	SNMP_LTYIP_IPADDRESS	
6	mac	R/O	4	MACアドレス	00-0E-88-XX-XX-XX	SNMP_LTYIP_STRING	
7	ipGateway	R/W	4	デフォルトゲートウェイのIPアドレス	192.168.201.3	SNMP_LTYIP_IPADDRESS	
8	ipSubnetMask	R/W	4	本体IPのサブネットマスク	255.255.255.0	SNMP_LTYIP_IPADDRESS	
10	pwrdown & fanstop	R/O	4	ビット対応 bit0:power1 bit1:power2 bit4:fan power1 bit5:fan power2 bit7:本体fan1 bit8:本体fan2	正常:0 電源Aの電源とファン異常:17(11h) 本体ファンB異常:256(100h)	SNMP_LTYIP_INTEGER	○
12	inputRef & Reflock	R/O	4	リファレンス入力とロックの状態 bit0:Input bit16:Lock	正常:0 リファレンス入力無し:1(01h) リファレンスロック無し:65536 (10000h)	SNMP_LTYIP_INTEGER	○
40	Reserved1	R/O	4	予約		SNMP_LTYIP_INTEGER	
41	Reserved2	R/O	4	予約		SNMP_LTYIP_INTEGER	
42	Reserved3	R/O	4	予約		SNMP_LTYIP_INTEGER	
1000	Time	R/O	4	CPUの現在時刻	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1001	Date	R/O	4	CPUの現在日付	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1002	Reserved4	R/O	80	予約		SNMP_LTYIP_STRING	
1003	Video Format	R/O	4	VIDEO FORMAT	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1004	GEN LOCK	R/O	4	GENLOCK bit0-15:垂直位置 bit16-31:水平位置	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1005	Menu	R/O	4	MENU 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1006	Credit	R/O	4	CREDIT bit0~3: モード(1:on air/2:next/3:next on air) bit4~7: サイズ(0:S1/1:S2/2:L1/3:L2) bit8~11: 位置(0:left up/1:right up/2:left down/3:right down/4:center) bit12~15: 色 (0:white/1:red/2:green/3:blue/4:yellow/5:magenta/6:cyan) bit16~23: 輝度(0~100)	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1007	Super	R/O	4	SUPER IMPOSE 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1008	Fill	R/O	4	KEYが無い時の設定 0:WHITE/1:BLACK	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1009	Key	R/O	4	FILLが無い時の設定 0:WHITE/1:BLACK	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1010	Line AUDIO	R/O	4	LINE AUDIO bit0-15:LINE AUDIO TYPE 0:MUTE 1:LINE AUDIO bit16-31:LINE AUDIO LEVEL(-20~+20)	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1011	EXEC MODE	R/O	4	EXEC MODE 0:DIRECT/1:PRESET/2:BLACK/3:2CH/4:2LAYER	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1012	DIRECT MODE	R/O	4	DIRECT MODE 0:MODE1/1:MODE2	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1013	CTL CH	R/O	4	2CH/2LAYER時の制御チャンネル 1:CH1/2:CH2/3:BOTH	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1014	STANDBY KEY	R/O	4	ON AIR動画スタンバイ時のKEY出力のON/OFF 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1015	LCD OUT	R/O	4	LCDに表示するサムネイル 0:ON AIR/1:NEXT	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1016	Reserved5	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1017	Reserved6	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1018	Reserved7	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1019	Reserved8	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1020	Reserved9	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1021	Reserved10	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1022	Reserved11	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1023	Reserved12	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1024	Reserved13	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1025	Reserved14	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1026	Reserved15	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1027	Reserved16	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1028	Reserved17	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1029	Reserved18	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1030	Reserved19	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1031	Reserved20	R/O	4	Reserved	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1032	PANEL1 LOCK	R/O	4	PANEL1 LOCK 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1033	PANEL2 LOCK	R/O	4	PANEL2 LOCK 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	トラップ
1034	DIRECT PANEL FUNC1	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ1の設定値 0:OFF/1:LOOP/2:TALLY CHG/3:TALLY START/4:PV DSK/5:MENU/6:NEXT START/7:NEXT STOP/8:MUTE/9:NEXT MUTE/10:WR SCAN/11:CREDIT/12:NEXT CREDIT/13:STANDBY KEY/14:GPI IN/15:GPI IN/16:GPI IN1/17:GPI IN2/18:GPI IN3/19:GPI IN4/20:GPI IN5/21:GPI IN6/22:GPI IN7/23:GPI IN8/24:GPI OUT/25:GPI OUT1/26:GPI OUT2/27:GPI OUT3/28:GPI OUT4/29:GPI OUT5/30:GPI OUT6/31:GPI OUT7/32:GPI OUT8/33:PANEL LOCK1/34:PANEL LOCK2/35:INP SRC SEL/36:TIMER MODE/37:EDIT SYNC	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1035	DIRECT PANEL FUNC2	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ2の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1036	DIRECT PANEL FUNC3	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ3の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1037	DIRECT PANEL FUNC4	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ4の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1038	DIRECT PANEL FUNC5	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ5の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1039	REMOTE IN	R/O	4	REMOTE IN 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1040	REMOTE OUT	R/O	4	REMOTE OUT 0:OFF/1:ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1041	START READ ON AIR	R/O	4	START READ ON AIR 起動時ON AIRにリードされるファイルID	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1042	START READ NEXT	R/O	4	START READ NEXT 起動時ON AIRにリードされるファイルID	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1043	SYSTEM DELAY	R/O	4	SYSTEM DELAY システム全体の遅延時間 0~90フレーム	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1044	START DELAY	R/O	4	START DELAY STARTスイッチを押してからの遅延時間 -4~90フレーム	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1045	LCD SAVER	R/O	4	LCD SAVER 0:30SEC/1:1MIN/2:2MIN	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1046	WRITE SCAN	R/O	4	WRITE SCAN 0:FRAME/1:FIELD	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1047	CHG MODE	R/O	4	CHGのモード 0:CHG/1:CHG & START/2:STANDBY LOCK	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1048	AUDIO MUTE	R/O	4	ON AIR/NEXTの音声のミュート状況 bit0-15:ON AIRの音声のミュート 0:OFF 1:ON bit16-31:NEXTの音声のミュート 0:OFF 1:ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1049	Network Speed&Duplex	R/O	4	ネットワークのスピードとデュプレックスの設定 0= 10Mb Half 1= 10Mb Full 2= 100Mb Half 3= 100Mb Full 4= 1000Mb Half 5= 1000Mb Full	5	SNMP_LTYP_INTEGER	
1050	Still picture registration	R/O	4	静止画の合計登録枚数	1000	SNMP_LTYP_INTEGER	
1051	Audio registration	R/O	4	音声ファイルの合計登録フレーム数	1000	SNMP_LTYP_INTEGER	
1052	Movie registration	R/O	4	動画/ロールファイルの合計登録フレーム数	1000	SNMP_LTYP_INTEGER	
1053	Capacity of still picture	R/O	4	静止画ファイルの登録可能フレーム数	9600 ※登録可能数は搭載するSSDの容量 によって可変します。	SNMP_LTYP_INTEGER	
1054	Capacity of Audio	R/O	4	音声ファイルの登録可能フレーム数	324000 ※登録可能数は搭載するSSDの容量 によって可変します。	SNMP_LTYP_INTEGER	
1055	Capacity of Movie	R/O	4	動画/ロールファイルの登録可能フレーム数	324000 ※登録可能数は搭載するSSDの容量 によって可変します。	SNMP_LTYP_INTEGER	
1056	Still picture registration Alarm threshold	R/W	4	静止画ファイルのディスク使用量通知の閾値。(登録数 / 登録可能フレーム数) * 100 = ディスクの使用量パーセンテージで求めたパーセンテージを閾値として設定する。 0~100。 ※0は使用量通知トラップを発行しない時に設定する値。	80	SNMP_LTYP_INTEGER	
1057	Audio registration Alarm threshold	R/W	4	音声ファイルのディスク使用量の閾値。(登録数 / 登録可能フレーム数) * 100 = ディスクの使用量パーセンテージで求めたパーセンテージを閾値として設定する。 0~100。 ※0は使用量通知トラップを発行しない時に設定する値。	80	SNMP_LTYP_INTEGER	
1058	Movie registration Alarm threshold	R/W	4	動画ファイルのディスク使用量の閾値。(登録数 / 登録可能フレーム数) * 100 = ディスクの使用量パーセンテージで求めたパーセンテージを閾値として設定する。 0~100。 ※0は使用量通知トラップを発行しない時に設定する値。	80	SNMP_LTYP_INTEGER	
1059	Still picture Consumption	R/O	4	静止画ファイルのディスク使用量パーセンテージ。(登録数 / 登録可能フレーム数) * 100 = ディスクの使用量パーセンテージで求めたパーセンテージを通知。	OID1056の値未満:正常 OID1056の値以上:トラップ発行	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1060	Audio Consumption	R/O	4	音声ファイルのディスク使用量パーセンテージ。(登録数 / 登録可能フレーム数) * 100 = ディスクの使用量パーセンテージで求めたパーセンテージを通知。	OID1057の値未満:正常 OID1057の値以上:トラップ発行	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1061	Movie Consumption	R/O	4	動画ファイルのディスク使用量パーセンテージ。(登録数 / 登録可能フレーム数) * 100 = ディスクの使用量パーセンテージで求めたパーセンテージを通知。	OID1058の値未満:正常 OID1058の値以上:トラップ発行	SNMP_LTYP_INTEGER	○

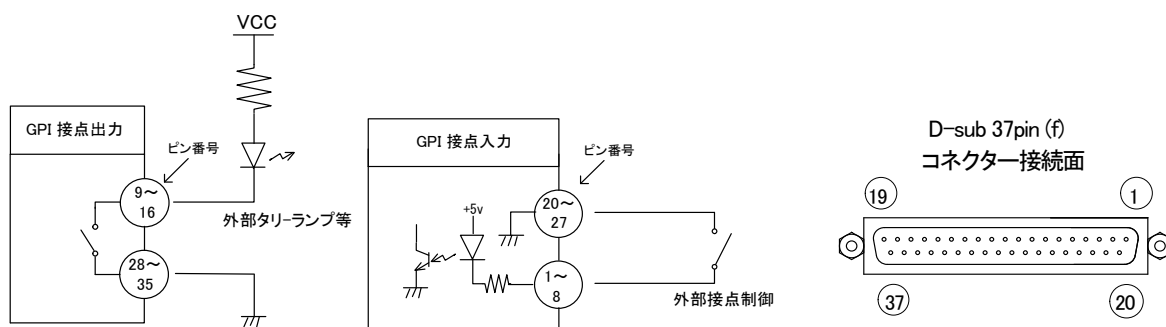
項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	トラップ
1062	managerIp2	R/W	4	マネージャのIPアドレス2	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1063	managerIp3	R/W	4	マネージャのIPアドレス3	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1064	managerIp4	R/W	4	マネージャのIPアドレス4	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1065	managerIp5	R/W	4	マネージャのIPアドレス5	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1066	managerIp6	R/W	4	マネージャのIPアドレス6	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1067	managerIp7	R/W	4	マネージャのIPアドレス7	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1068	managerIp8	R/W	4	マネージャのIPアドレス8	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1069	managerIp9	R/W	4	マネージャのIPアドレス9	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1070	managerIp10	R/W	4	マネージャのIPアドレス10	192.168.201.1	SNMP_L_TYP_IPADDRESS	
1071	DIRECT PANEL FUNC6	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ6の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1072	DIRECT PANEL FUNC7	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ7の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1073	DIRECT PANEL FUNC8	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ8の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1074	DIRECT PANEL FUNC9	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ9の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1075	DIRECT PANEL FUNC10	R/O	4	ダイレクトパネルファンクションスイッチ10の設定値 値の意味はFUNC1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1076	1CH GPI IN 1	R/O	4	1CH時GPI 入力 1 0: OFF / 1: CHG / 2: SKIP / 3: BACK / 4: TOP 5: START / 6: STOP / 7: NEXT START / 8: NEXT STOP 9: READ 10: START & STOP / 11: CHG & START 12: REPEAT ON & OFF / 13: MUTE ON & OFF 14: NEXT START & STOP / 15: NEXT MUTE ON & OFF	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1077	1CH GPI IN 2	R/O	4	1CH時GPI 入力 2 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1078	1CH GPI IN 3	R/O	4	1CH時GPI 入力 3 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1079	1CH GPI IN 4	R/O	4	1CH時GPI 入力 4 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1080	1CH GPI IN 5	R/O	4	1CH時GPI 入力 5 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1081	1CH GPI IN 6	R/O	4	1CH時GPI 入力 6 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1082	1CH GPI IN 7	R/O	4	1CH時GPI 入力 7 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1083	1CH GPI IN 8	R/O	4	1CH時GPI 入力 8 値の意味は1CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1084	1CH GPI OUT 1	R/O	4	1CH時GPI 出力 1 0: OFF / 1: CHG / 2: SKIP / 3: BACK / 4: TOP 5: START / 6: STOP / 7: NEXT START / 8: NEXT STOP 9: READ 10: START & STOP / 11: CHG & START 12: REPEAT ON & OFF / 13: MUTE ON & OFF 14: NEXT START & STOP / 15: NEXT MUTE ON & OFF 16: REC	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1085	1CH GPI OUT 2	R/O	4	1CH時GPI 出力 2 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1086	1CH GPI OUT 3	R/O	4	1CH時GPI 出力 3 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1087	1CH GPI OUT 4	R/O	4	1CH時GPI 出力 4 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1088	1CH GPI OUT 5	R/O	4	1CH時GPI 出力 5 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1089	1CH GPI OUT 6	R/O	4	1CH時GPI 出力 6 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1090	1CH GPI OUT 7	R/O	4	1CH時GPI 出力 7 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1091	1CH GPI OUT 8	R/O	4	1CH時GPI 出力 8 値の意味は1CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	
1092	2CH GPI IN 1	R/O	4	2CH時GPI 入力 1 0: OFF / 1: CHG / 2: SKIP / 3: BACK / 4: TOP 5: START / 6: STOP / 7: NEXT START / 8: NEXT STOP 9: READ 10: START & STOP / 11: CHG & START 12: REPEAT ON & OFF / 13: MUTE ON & OFF 14: NEXT START & STOP / 15: NEXT MUTE ON & OFF 101: CH1 CHG / 102: CH1 SKIP / 103: CH1 BACK / 104: CH1 TOP 105: CH1 START / 106: CH1 STOP / 107: CH1 NEXT START 108: CH1 NEXT STOP / 109: CH1 READ / 110: CH1 START & STOP 111: CH1 CHG & START / 112: CH1 REPEAT ON & OFF 113: CH1 MUTE ON & OFF / 114: CH1 NEXT START & STOP 115: CH1 NEXT MUTE ON & OFF 201: CH2 CHG / 202: CH2 SKIP / 203: CH2 BACK / 204: CH2 TOP 205: CH2 START / 206: CH2 STOP / 207: CH2 NEXT START 208: CH2 NEXT STOP / 209: CH2 READ / 210: CH2 START & STOP 211: CH2 CHG & START / 212: CH2 REPEAT ON & OFF 213: CH2 MUTE ON & OFF / 214: CH2 NEXT START & STOP 215: CH2 NEXT MUTE ON & OFF	0	SNMP_L_TYP_INTEGER	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	トラップ
1094	2CH GPI IN 3	R/O	4	2CH時GPI 入力 3 値の意味は2CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1095	2CH GPI IN 4	R/O	4	2CH時GPI 入力 4 値の意味は2CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1096	2CH GPI IN 5	R/O	4	2CH時GPI 入力 5 値の意味は2CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1097	2CH GPI IN 6	R/O	4	2CH時GPI 入力 6 値の意味は2CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1098	2CH GPI IN 7	R/O	4	2CH時GPI 入力 7 値の意味は2CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1099	2CH GPI IN 8	R/O	4	2CH時GPI 入力 8 値の意味は2CH時GPI 入力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1100	2CH GPI OUT 1	R/O	4	2CH時GPI 出力 1 0: OFF / 1: CHG / 2: SKIP / 3: BACK / 4: TOP 5: START / 6: STOP / 7: NEXT START / 8: NEXT STOP 9: READ 10: START & STOP / 11: CHG & START 12: REPEAT ON & OFF / 13: MUTE ON & OFF 14: NEXT START & STOP / 15: NEXT MUTE ON & OFF 16: REC 101: CH1 CHG / 102: CH1 SKIP / 103: CH1 BACK / 104: CH1 TOP 105: CH1 START / 106: CH1 STOP / 107: CH1 NEXT START 108: CH1 NEXT STOP / 109: CH1 READ / 110: CH1 START & STOP 111: CH1 CHG & START / 112: CH1 REPEAT ON & OFF 113: CH1 MUTE ON & OFF / 114: CH1 NEXT START & STOP 115: CH1 NEXT MUTE ON & OFF 201: CH2 CHG / 202: CH2 SKIP / 203: CH2 BACK / 204: CH2 TOP 205: CH2 START / 206: CH2 STOP / 207: CH2 NEXT START 208: CH2 NEXT STOP / 209: CH2 READ / 210: CH2 START & STOP 211: CH2 CHG & START / 212: CH2 REPEAT ON & OFF 213: CH2 MUTE ON & OFF / 214: CH2 NEXT START & STOP 215: CH2 NEXT MUTE ON & OFF	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1101	2CH GPI OUT 2	R/O	4	2CH時GPI 出力 2 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1102	2CH GPI OUT 3	R/O	4	2CH時GPI 出力 3 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1103	2CH GPI OUT 4	R/O	4	2CH時GPI 出力 4 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1104	2CH GPI OUT 5	R/O	4	2CH時GPI 出力 5 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1105	2CH GPI OUT 6	R/O	4	2CH時GPI 出力 6 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1106	2CH GPI OUT 7	R/O	4	2CH時GPI 出力 7 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1107	2CH GPI OUT 8	R/O	4	2CH時GPI 出力 8 値の意味は2CH時GPI 出力 1と同じ。	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1108	Direct Panel Led Brightness	R/O	4	ダイレクトパネルの LED 輝度 -2~2	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1109	Credit Display Brightness	R/O	4	クレジット表示輝度 0~100	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1110	Compression Mode	R/O	4	圧縮モード 0: 非圧縮 1: 圧縮 (10bit JPEG)	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1111	Recording Time Code	R/O	4	収録時使用タイムコード	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1112	Output Time Code	R/O	4	動画再生時出力タイムコード 0: 内部カウント / 1: 記録 TC	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1113	Output Play End	R/O	4	収録素材の再生終了設定 0: FREEZE / 1: BLACK / 2: AFTER CHG 3: CONTINUE / 4: AUTO REWIND	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1114	StandbyThumbnail Frame	R/O	4	動画スタンバイ時サムネイルフレーム 0: 先頭フレーム表示 1: サムネイルフレーム表示	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1115	Next Out Image	R/O	4	NEXT KEY 出力映像 0: NEXT / KEY 1: ON AIR / FILL	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1116	Credit Display Color	R/O	4	クレジット表示色 0: 白 1: 赤 2: 緑 3: 青 4: 黄 5: マゼンタ 6: シアン	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1117	fanspeed fan power A	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数	C864h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1118	fanspeed fan power B	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数	C864h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1119	fanspeed fan power C	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数 未実装により常時 65408 (FF80h)	FF80h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1120	fanspeed fan A	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数	C864h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1121	fanspeed fan B	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数	C864h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1122	fanspeed fan ext 0	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数 未実装により常時 65408 (FF80h)	FF80h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1123	fanspeed fan ext 1	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数 未実装により常時 65408 (FF80h)	FF80h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1124	fanspeed fan SSD	R/O	4	1秒間でのファンの定格回転数と回転数 bit0~7 :fan 定格回転数 bit8~15 :fan 回転数 未実装により常時 65408 (FF80h)	FF80h	SNMP_LTYIP_INTEGER	
1125	Color Gamut / Dynamic Range	R/O	4	色域・輝度設定 0: Rec.709 / SDR 1: Rec.709 / HDR 2: Rec.2020 / SDR 3: Rec.2020 / HDR	0	SNMP_LTYIP_INTEGER	

9. 外部インターフェース

1. GPI(D-sub 37pin (female))

ピン番号	I/O	信号名	機能	内容
1	IN	接点入力1	各入力に対する機能割り当ては、P.21「GPIO IN」をご覧ください。	アサート時、各入力とGND(接点入力用コモン)をMAKEさせます。
2	IN	接点入力2		
3	IN	接点入力3		
4	IN	接点入力4		
5	IN	接点入力5		
6	IN	接点入力6		
7	IN	接点入力7		
8	IN	接点入力8		
20-27	-	GND	接点入力用コモン	
9	OUT	接点出力1A	各出力に対する機能割り当ては、P.21「GPIO OUT」をご覧ください。	アサート時、各出力のA/BがMAKEされます。
28	OUT	接点出力1B		
10	OUT	接点出力2A		
29	OUT	接点出力2B		
11	OUT	接点出力3A		
30	OUT	接点出力3B		
12	OUT	接点出力4A		
31	OUT	接点出力4B		
13	OUT	接点出力5A		
32	OUT	接点出力5B		
14	OUT	接点出力6A		
33	OUT	接点出力6B		
15	OUT	接点出力7A		
34	OUT	接点出力7B		
16	OUT	接点出力8A		
35	OUT	接点出力8B		
17-19	-	GND	メンテナンス用サービス電源	メンテナンス用です。何も接続しないでください。
36-37	-	+5V		



※接点出力の絶対最大定格は 60V、300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。

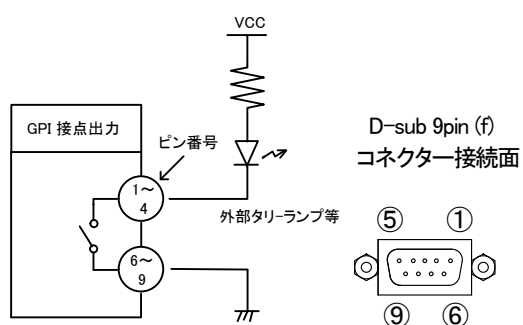
※TTL 信号で制御する際は、吸い込み電流が 12mA まで耐えられるデバイスで駆動してください。

2. ALARM OUT(D-sub 9pin (female))

ピン番号	I/O	信号名	機能	内容
1	OUT	接点出力1A	電源電圧アラームA	AC電源入力Aの電源喪失、または電源ユニットAの電圧異常
6	OUT	接点出力1B		
2	OUT	接点出力2A	電源電圧アラームB	AC電源入力Bの電源喪失、または電源ユニットBの電圧異常
7	OUT	接点出力2B		
3	OUT	接点出力3A	電源ファンアラーム	電源ユニット(A/Bいずれか)の空冷ファン異常
8	OUT	接点出力3B		
4	OUT	接点出力4A	空冷ファンアラーム	空冷ファンユニットの異常
9	OUT	接点出力4B		
5	-	GND		

※アラーム発生時、各出力の A/B が MAKE されます。

※電源 OFF 時は、すべてのアラームが MAKE 状態になります。



※接点出力の絶対最大定格は 60V、300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。

10. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現象 本体POWER AまたはPOWER Bのランプが橙色に点灯している！

原因 電源スイッチはON側になっていますか？

本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

→筐体のつながっているシステムの電源に異常がある可能性があります。システムからはずし、
確実な電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合、電源ユニットが故障した
可能性があります。当社サポートセンターまでご連絡ください。

現象 ALARMランプが点滅し、液晶表示器に「FAN A」または「FAN B」の表示が点滅している！

原因 空冷ファンから異音がしていませんか？

→空冷ファンに埃などが目詰まりしている場合、本体の電源をOFFし、清掃してください。

異音がしている場合は空冷ファンの交換が必要です。

当社サポートセンターまでご連絡ください。

空冷ファンが停止していませんか？

→空冷ファンの交換が必要です。当社サポートセンターまでご連絡ください。

現象 出力映像が乱れる！

原因 リファレンス信号は接続されていますか？

→リファレンスは必須です。必ず入力してください。

→終端を確認してください。ブリッジ接続されている場合は、末端の機器の75Ω終端を、ブリッジ
接続しない場合は、75Ω終端器が接続されているかを確認してください。

現象 本体のMENUを押してもメニューモードに入れない！

原因 パネルロックされていませんか？

→ステータス表示時、**MENU**を2秒以上長押しするとパネル操作がロックされます。

再度操作する場合は、もう一度**MENU**を2秒以上長押ししてください。

お問い合わせは、当社サポートセンターまでご連絡ください。

11. 保守・点検

1. 電源ヒューズの交換方法

本体のヒューズは各電源ユニットに内蔵しており、ユーザーによるヒューズ交換はできません。

電源スイッチをONにしても電源ランプが点灯しない場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

12. 仕様

1. 定格

【MF-90V】

映像入力信号

- SDI IN FILL/LINE1 SMPTE292M 準拠 0.8V_{p-p}±10%/75Ω
- SDI IN KEY/LINE2
- 映像信号フォーマット HD 1080i 59.94 Y/Cb/Cr 4:2:2 10bit

映像出力信号

- SDI ONAIR OUT FILL 1/2 SMPTE292M 準拠 0.8V_{p-p}±10%/75Ω
- SDI ONAIR OUT KEY 1/2
- SDI NEXT OUT FILL 1/2
- SDI NEXT OUT KEY 1/2
- 映像信号フォーマット HD 1080i 59.94 Y/Cb/Cr 4:2:2 10bit

リファレンス入力信号

- REF IN 75Ω BNC 1 系統 2 端子(パススルー)
- 対応フォーマット BBS(525i) / 3値SYNC(1080i 59.94)

外部I/F

- GPIO D-SUB 37pin (f) インチネジ
入力8系統、最大定格電流:12mA
出力8系統、最大定格電圧:60V 最大定格電流:300mA
- RS-422 未使用
- LTC IN 未使用
- LTC OUT 未使用
- Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T RJ-45 1系統
- PANEL(専用操作パネル) 未使用

外部メディアI/F

- SD CARD 未使用※
- USB 未使用
※ 弊社サービスによるメンテナンス時に使用

電源 AC90~250V 50/60Hz

消費電力 150VA MAX

外形寸法 434(W)×88(H)×450(D) mm(突起物含まず)

質量 12.1kg

動作温度 0~40°C

動作湿度 20~80%RH(但し、結露なきこと)

2. 性能

【MF-90V】

映像入力信号

- SDI IN FILL/LINE1

SDI IN KEY/LINE2

最大ケーブル長

最短入出力遅延時間

HD 100m (5C-FB) ※1

スーパーインポーズモード 4.0 μ s

キャプチャーモード 非同期入力可※2

※1 弊社の測定環境を基準とする

※2 FILL/KEY の位相差は±100 μ s 以内であること

映像

- 動画

映像品質

Y / Cb / Cr / α 4:2:2:4 10bit 非圧縮

音声

リニア PCM 48kHz / 24bit 8ch

最大録画時間

90 分(1080i/59.94)

- 静止画

映像品質

Y / Cb / Cr / α 4:2:2:4 10bit 非圧縮

音声

リニア PCM 48kHz / 24bit 8ch

最大記録枚数

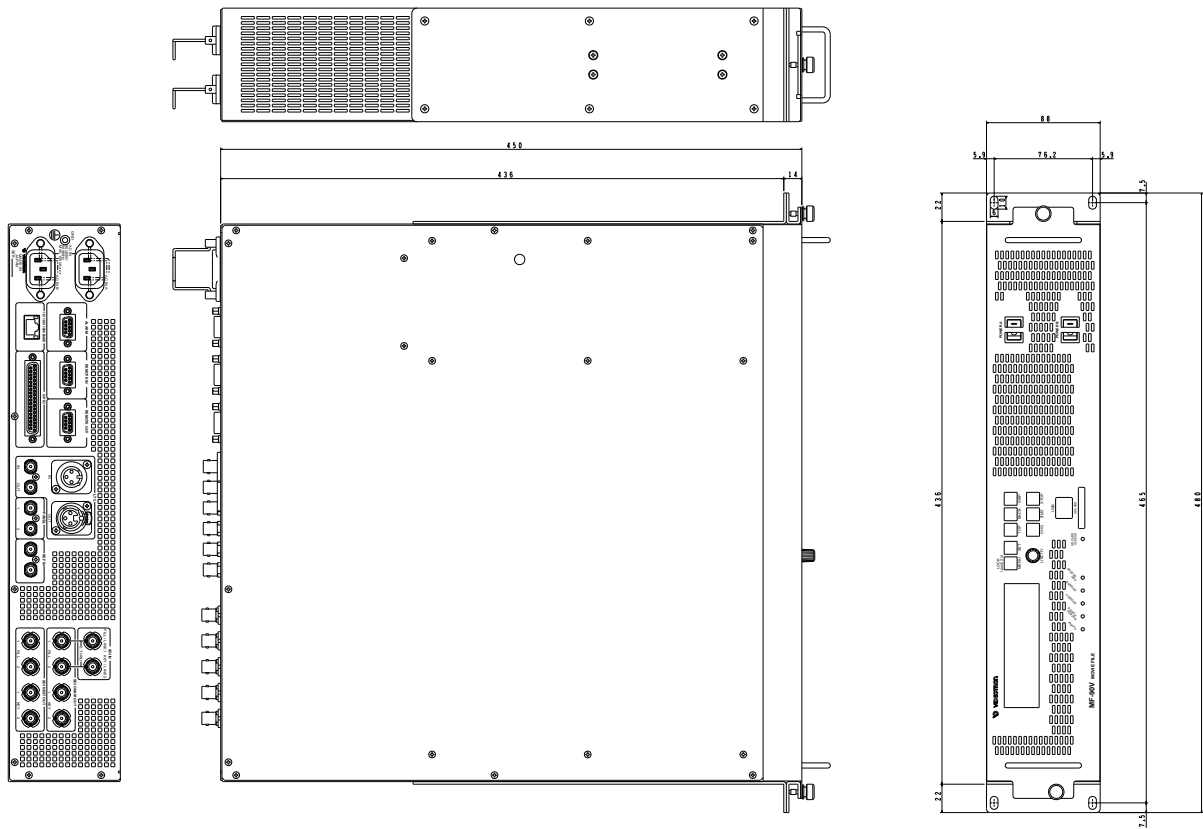
9,600 枚

最大録音時間

60 分

13. 外形寸法図

1. MF-90V



単位:mm

本書に記載している商標

Microsoft®、Windows®、および Windows 7®、Windows 8.1®、Windows 10®は、Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

その他本書中に記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

無断転写禁止



- 本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- 本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL **042-666-6311**

大阪営業所 TEL **06-6195-8741**

ビデオトロン株式会社 E-Mail: sales@videotron.co.jp

本 社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト

<http://www.videotron.co.jp/>

102008R04

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。